

瀬戸内海環境保全セミナー



～海に必要な栄養とは？～

(写真撮影 山内 勝)

令和元年11月14日（木） 14:00～15:30
ラッセホール 2F ローズサローン

主催：兵庫県

**共催：ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会、ひょうご環境保全連絡会、
（公財）ひょうご環境創造協会**

プログラム

兵庫県が、海域における窒素・リンの水質目標値(下限値)を設定することに伴い、豊かで美しい瀬戸内海の再生のために、海に必要な栄養について考えます。

(14:05~14:25) 兵庫県の施策説明

『豊かで美しい瀬戸内海を目指して』 兵庫県環境管理局长 菅 範昭

(14:25~15:25) 講演

『内海の生態系維持に必要な水質(栄養量)』 京都大学名誉教授 藤原 建紀 氏

講演

講師のご紹介

講師

藤原 建紀 氏 京都大学名誉教授



「内海の生態系維持に必要な水質(栄養量)」

内海の生態系維持に最低限必要な窒素・リン濃度(下限値)を、実海域での飼育実験により求めるとともに、海域の栄養塩濃度の経年的低下のもとで、食物網を構成する各栄養段階ごとの生物量がどのように減少したかを調べた。

海域の全窒素濃度の低下に伴い、どの栄養段階でも生物量(biomass)の低下が起きていた。

また、海域の全窒素濃度が 0.2 mg/L 以下になると、海岸生物相が内湾型から外海型(貧栄養型)へと急激に変わっていた。

◆◆◆◆ Memo ◆◆◆◆